

子ども、患者、妊婦などを 麻しんから守りましょう！！

皆様の職場には、麻しんにかかると重症化しやすい人（子ども、患者、妊婦など）がたくさんいます。

子ども、患者、妊婦などを麻しんから守るには、職員が麻しんにかからないよう注意することが重要です！

職員の皆様は、以下の御協力を！

- まず、麻しんにかかったことがあるか、予防接種を打ったことがあるか、母子健康手帳などで確認してください。
- 麻しんにかかったことがなく、予防接種を2回打っていない場合は、予防接種を打つことを検討してください。
(2回打ったか分からない方も同様です。)

特に、0歳児や妊婦と接する機会が多い方は、積極的な御協力をお願いします！

麻しんは、非常に強い感染力を持ち、空気感染、飛沫感染、接触感染で、様々な経路でヒトからヒトへ感染します。免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症します。

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出ます。肺炎、中耳炎を合併しやすい感染症です。

※ 日本は麻しんの排除状態として認定されていますが、海外からの輸入例が報告されています。

